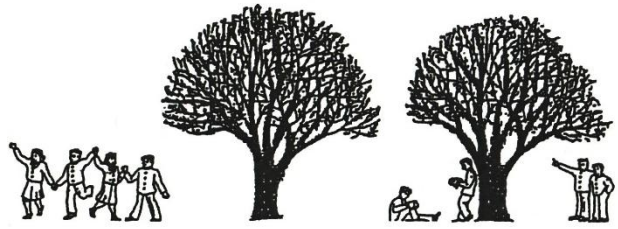


2本のケヤキ

第171号 (令和8年6月17日)



創立40周年

本校は今年、創立40周年という大きな節目を迎えました。11月2日には記念式典を行う予定です。私自身、この歴史の中で通算9年間も本校に勤務できたことに深いご縁を感じるとともに、生徒や先生方と歩んできた日々

に感謝の気持ちでいっぱいです。本校は昭和62年、「群馬県立高等養護学校」として開校しました。当時、障害のある生徒たちが通う「高等部だけ」の学校は東毛地区になく、誕生が強く望まれていました。全国に先駆けた「産業科」の設置や、自分で電車やバスを使って通学し社会性を育てるなど、従来の枠を超えた新しい挑戦から始まった学校です。そのため、当時は県内全域から生徒が自力で通ってきました。

その後、平成9年に「群馬県立太田高等養護学校」へと名前を変え、新しく普通科も設置されました。さらに平成27年には、現在の「群馬県立太田高等特別支援学校」へと改称し、時代とともに進化を続けてきました。

この節目にあたり、私たちは改めて学校の歴史を築いてこられた方々の熱い思いを胸に刻む必要があります。歴代の先生方が繋いでくれたバトンを受け継ぎ、生徒ひとりひとりに寄り添った学びができる学校を目指して、私も気持ちを新たにしています。

【創立40周年記念事業準備委員会の報告】

5月13日に令和8年度第1回創立40周年記念事業準備委員会が開催され、組織や各系の進捗を確認しました。式典は11月2日(月)10:00より本校体育館で挙行予定です。記念事業として、記念誌作成や記念品配付、生徒によるアトラクションを予定しており、関係者約180名に案内を発送します。10年に一度の一大イベントが成功するよう教職員一丸となって準備を進めてまいりますので、保護者の皆様もご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

障害者スポーツ・生涯スポーツ

今年度、総合スポーツ部に新設された「フライングディスク班」には4名が入部し、元気に活動を開始しました。他の部活動にも新入生を迎え、校内は活気に満ちています。また、普通科では、ほぼ毎日、1校時に校庭でランニングやウォーキングを行い、体力づくりに励んでいます。在学中は体を動かす機会が多い生徒たちですが、卒業後に社会へ出ると運動量が激減し、体重増加や生活習慣病に悩む卒業生も少なくありません。生徒たちが卒業後も元気に過ごすための基礎は「心身の健康」です。在学中からスポーツに親しみ、体を動かす楽しさを知ること、卒業後も「生涯スポーツ」として運動を継続してほしいと願っています。そこで、卒業後も安心してスポーツを楽しめる県内の公的施設をご紹介します。障害のある方が優先して利用できる充実した施設です。本校からは少し遠いのですが、ぜひご活用ください。

『群馬県立ふれあいスポーツプラザ』

県内の障害者スポーツの拠点となる総合施設で、体験教室等も開かれています。

○場所:伊勢崎市下触町238-3

(TEL: 0270-62-9000)

○時間:午前9時~午後8時

(温水プールは午前10時~午後7時)

○休館:毎週月曜、第2・第4火曜、祝日の翌日、年末年始

○料金:障害のある方とその介護者は無料

○施設:温水プール、体育室、トレーニング室、サウンドテーブルテニス室、陸上競技場、テニスコート、ソフトボール場、アーチェリー場

※最新の開館情報は施設のホームページ等をご確認ください。

